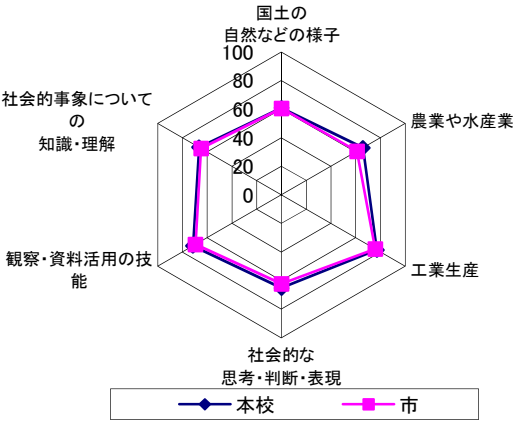


宇都宮市立御幸小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	60.7	60.4
	農業や水産業	65.8	61.0
	工業生産	77.0	75.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	65.1	62.2
	観察・資料活用 of 技能	71.5	69.4
	社会的な事象についての知識・理解	66.6	65.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	・平均正答率は、市の平均を0.3ポイント上回った。日本近隣の主な国の名称や国旗の理解などの問題は平均を上回ったが、地図に触れる機会が少なく、理解が曖昧なため世界の主な海洋の名称と位置についての正答率が低かった。	・学習に出てくる国や地域を地図帳で確認することをこれからも徹底していく。また、単に記憶するだけでなく、学習した内容や他の教科と関連させ覚えていけるような取り組みを進めていく。
農業や水産業	・平均正答率は、市の平均を4.8ポイント上回った。ほとんどの問題で市の平均を上回っているが、地理的に漁業との接点が少ないこともあってか栽培漁業についての問題が市の平均を大きく下回った。	・地域的に漁業に触れる機会が少ないことも理解が深まりにくい要因と考えられる。指導の際、映像や資料集を多く活用するなどして、より児童が理解できるように学習を進める。
工業生産	・平均正答率は、市の平均を1.3ポイント上回った。しかし、複数の関連した資料から読み取り、それをもとに判断して解答したりする問題の正答率が低かった。	・資料から単純に読み取る問題はできるが、複数の資料をもとに判断したり、共通点を読み取ったりする問題の正答率が低いことから、資料やデータから気が付いたことを発表する機会を増やすなどして関連性や特徴を読み取る力を高めていく。